



“ポジティブ”に英語の日々です

一昨年ごろより、細々とマイペースではありますが、英語の勉強をやり直しています。昨今、日本でも国際化が顕著に叫ばれるようになってきているものの、パチンコ・パチスロというのはほぼ完全な内需産業といえますので、英語が使えなくても仕事の上では問題がありません。では、なぜ英語を勉強したいと思ったのかというと…それは「音楽」と「カジノ」がきっかけでした。

私は元々、学生時代から洋楽やミュージックビデオが好きで、インターネットが普及してからはそうした動画などもよく見るようになりました。加えてここ数年のうちブログやSNSなどによって、かつて遠い海の向こうにいたアーティストたちの声や動向もリアルタイムで分かるようになり、本当にいい時代になったなーと感動することもしばしば。

また、かねてより囁かれていた日本へのカジノ誘致が、不況や大震災後さらに真剣味を帯びて討論されるようになりました。カジノの動向にも昔から興味があった私にとって、インターネットで海外の情報がリアルタイムで見聞できるようになったのも、大変いいことであります。

ところが、自分の英語に対する理解力がないため、せっかく便利な世の中になったというのに、相手が何を言いたいかサッパリ分からず、却ってイライラしてしまうということが多発。英語は中学から大学前半まで授業があつて勉強していたはずなのに、ネットの進歩と反比例するかのようになり、忘却の彼方に行ってしまうではありませんか！

そこでまず始めたのが、お金をかけないマイペース勉強法です。ケーブルTVでCNNなどの英語ニュースを時間がある時に見るようにしたり、ネットの英字

新聞で興味があるニュースを読んだり。しかししばらくして、そうしたニュースや新聞に出て来るのは時事英語がほとんどなので、頻繁に使われる「debt(債務)」や「opposition(抗議)」「deficit(赤字)」といった、ちょっとネガティブな単語ばかり覚えてしまっていることに気づきました(苦笑)。そこで、それらに加えて簡単な文法書や英語のエッセイ集などを購入し、理解できるまで繰り返しゆっくり読み進めることも開始しています。

すると…さすがの私でも「これ、やったなあ!」とか「こんな単語、覚えたなあ」などと、時々記憶の引き出しが開けられるようになってきました。何だか、久々の嬉しい感触です。さらに、今年に入ってお正月のイベントで携帯ゲーム機が当たったのをきっかけに、英語学習ソフトまで購入したり、検定試験を受けてしまったり、もはややる気マンマン。

そんなわけで、当面の目標は「検定試験で恥ずかしくない得点」、そして将来的な目標は、ミーハーですが「英語の話せるカッコいいお婆ちゃんになる!」となっております。自分の人生ですから、ポジティブに盛り上げていきたいですね。



じんぼう・みか

法政大学卒業後、文具メーカー勤務を経て業界誌記者となり、1993年独立。

取材記事、コラムなど連載。近著「パチンコ年代記」(バジリコ、07年)